

2025-2026

ANNUAL REPORT

一般社団法人ウィルドア 活動報告書



一人ひとりが“自分”と“社会”と生きられる未来に向けて
一緒に歩んでくださるみなさまへ

willdoor

すべての10代に、 「応援される」が あたりまえの社会を みんなで

ウィルドアは、この10年間で
50,000人以上の10代に
「わたしから始まる学び」を
届けてきました。

予測不可能な時代だからこそ、
どんな環境にいても自分の願いを
尊重し、応援してくれる誰かに頼る
ことができる社会へ。

引き続き、ウィルドアは「みんなで」
そんな未来を作っていきたいと
考えています。



Illustration by はるこねこ

10周年を記念し、私たちが目指したい未来を一枚の絵に
描いていただきました。10代だけでなく大人も共に学び、
悩み、葛藤しながら新しい一歩を踏み出していきます。

2015

設立。横須賀企業と協働
した、市内の高校生との
「猿島新聞」から開始

2016-17

三浦学苑高等学校や東京都と
連携し、学校出張プログラム
を実施。

2018-19

長野マイプロ
事務局を開始。
より大きな流れ
の学びをサポート。

2020-23

オンラインサードプレイス
「willdoor compass」がオープン
共同代表竹田が東京都の審議会委員に

2024-25

「ナビゲート研究会」
がスタート。10周年
に際し、マンスリーサ
ポーターキャンペーン
を実施。



willdoor

NEXT 10 YEARS !

「あの日ひらいた扉の、その先へ。」

～10年間で振り返って見たウィルドアの価値とは～



10年前に出会った当時の写真



10年ぶりの再会

10年前、ウィルドア初期の活動のひとつ「猿島新聞」。

当時参加した高校生は、地域を取材し、仲間と対話しながら、自分の興味や可能性と出会いました。あれから10年。「あのころ」の経験は、どんな形で「今」につながっているのでしょうか。

今回は当時の参加者である久野さんとたちちゃんにオンラインインタビューを実施させていただき、お二人の軌跡とそこから見たウィルドアの価値をおまとめしましたので、ご紹介します。

“ウィルドアがなかったら、今のキャリアはなかったと思います”



久野さん

現在、福祉用具専門相談員として働く久野さん。主に電動車椅子の提案を担当し、「利用者さんが自分の力で外出できるようになる瞬間に立ち会えることがやりがい」と話します。苦手意識のあった営業職として就職し、現在も多くの利用者の担当して日々頑張っているそうです。そんな久野さんにとって、高校時代に参加したウィルドアの活動は

「自分がやりたいと思ったことをやっていい」

という感覚を得られた、大きな転機だったといいます。その経験からファシリテーションに興味を持ち、大学では経営や対話の手法を学ぶ道を選択。そこで培った力は、現在の仕事にも活かされているとのこと。また、仕事と並行してシンガーソングライターとして音楽活動も続けています。

「ウィルドアがなかったら、今の進路も音楽活動もなかったかもしれない」

と、久野さんは語ります。高校時代の小さな挑戦が、10年後の今も、久野さんの人生を支え続けていました。

“人と話すことが苦手だった自分が、接客業に挑戦しています”

横須賀市内の人気パン店で働く内藤さん。

製造業で約5年半勤務した後、以前は苦手意識のあった接客業に挑戦し、現在は多くのお客様と関わりながら日々働いています。そんな内藤さんにとって、高校時代に参加したウィルドアの活動は、人との関わり方を大きく変えるきっかけになったそうです。

「当時は人と話すことに苦手意識がありましたが、活動を通じて同世代の仲間や大学生、社会人など多様な人たちと出会い、対話する楽しさを知りました」

と、内藤さんは語ります。

活動を通じて地域の人や場所と出会ったことで、地元・横須賀への愛着も深まりました。地域イベントへの参加やボランティア活動をきっかけに人脈が広がり、転職活動や日々の暮らしの中でも多くの人に支えられてきたと振り返ります。現在働くパン屋にも、地域で出会った人たちが訪れてくれることがあるそうです。



内藤さん

「人とのつながりが、今の自分をつくってくれた」。

高校時代の出会いから始まった小さな一歩をきっかけに、たっちゃんは10年後の今も、地域の中で新たなつながりを感じ続けています。

～2人の10年から見た、ウィルドアの価値～

自分のアイデアを発信する楽しさを知った人が、仕事や音楽活動でその力を活かし、人と話すことが苦手だった人が接客業に挑戦している。

ウィルドアが共につくるのは、特別な成功体験ではなく、

「やってみたい」と思った気持ちを大切にしながら、自分らしく一歩踏み出してみる経験なのかもしれません。

そして、その小さな一歩は、10代の思い出ではなく、10年後の生き方や働き方、人とのつながりの中にも確かに息づいていました。

これからも、一人ひとりの「やってみたい」が未来につながっていくように。

ウィルドアは、一人ひとりの持つ可能性を信じ、その一歩を支え続けていきます。

文章：永正和也

(一般社団法人ウィルドア 2025年入社)

マンスリーサポーター募集中

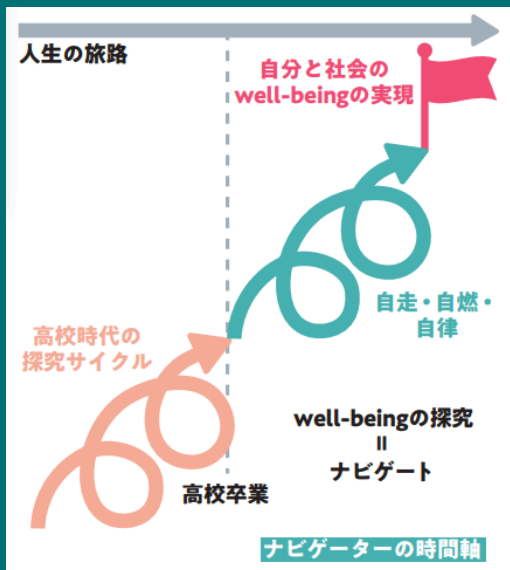


一般社団法人ウィルドアでは、2025年度より**マンスリーサポーター制度**の本格運用を開始いたしました。皆さまからお寄せいただくご支援は、**多感な10代への直接的な支援に加え、彼らを支える大人や地域の仕組みづくりにも大切に活用させていただいております。**私たちの主旨にご賛同いただける皆さまの温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。



月額 **500** 円からのご寄付でウィルドアの活動を応援できます

事業概要



一人ひとりの学習者が人生を通じて「自分と社会のwell-beingの実現」に向けて、様々な人の応援を受けながら自走・自燃・自律できる状態になることができる環境を拡げていくことを目指し、事業運営を行っています。

【学校】でわたしから始まる学び・探究へと踏み出すキッカケとその応援を得やすくする環境・仕組みを実装。そして学校を飛び出し、必要に応じたサポートを受けながらそれぞれの選択で【社会教育】へと踏み出し、学び、変化しながら、さらに自分の人生を紡いでいく。そんな10代の学びの姿が拡がるように、多面的に事業を展開しています。



学校教育を対象とした取り組み

- ワンダリングチャレンジ for School
- MAKERS 出張授業
- 都立 NPO×総合学科校連携事業

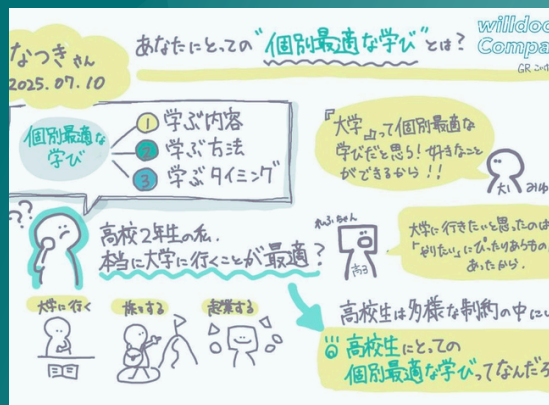
- ー プログラム提供学校総数： 約 **100** 校
- ー プログラム提供生徒数： 約 **3,800** 人
- ー 年間コーディネート校： **1** 校



中間領域 (willdoor事業)

- Compass：総合型オンラインサードプレイス
- AIコンパスさん：探究・課外活動支援ツール

- ー イベント開催回数： 約 **40** 回
- ー 接点を持った高校生数： 約 **100** 人
- ー 連携団体数： 約 **20** 団体



事業概要



学校教育

「わたしから始まる学び」の
応援を得られる環境・仕組み
の実装



中間領域

一人ひとりに向き合い、
自分軸発見や次の一步となる
社会教育資源との接続を
応援



社会教育

次世代の教育にとって重要となる
仕組みの検討、及び指導者・
関係者にとって重要となるマイ
ンド・スキルセットの整理や
発信・共有・支援



教育関係者対象

次世代の教育にとって重要となる仕組みの検討、及び指導者・関係者にとって重要となるマインド・スキルセットの整理や発信・共有・支援



社会教育領域での取り組み

- マイプロジェクト長野県 事務局
- 越境部活動
- TSG Lab U18 他



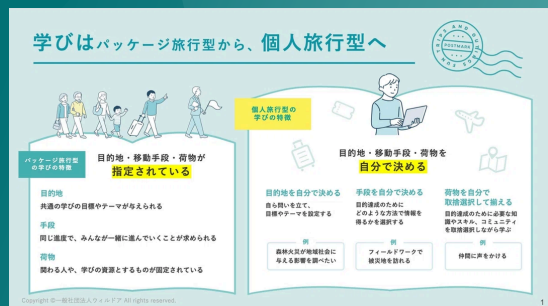
- ー イベント実施総数 : 約 **200** 回
- ー プログラム提供生徒数 : 約 **2,400** 名



教育関係者を対象とした取り組み

- 学びのナビゲーター研修
- 信州学び円卓会議 民間側事務局
- 長野マイプロ伴走者フォーラム

- ー 企業・団体アドバイザー/コンサル数 : 約 **9** 社/団体
- ー 教育関係者向けの学びの機会参加者数 : 約 **500** 名
- ー ナビゲートに関する研修機会への参加数 : 約 **500** 名



協力団体・協力者

連携・協働団体（順不同）

25年度に事業推進等に向けて協力・協働関係を築き、共に高校生のわたしから始まる学びを応援した法人の皆様。様々な専門性・つながりを持つ皆様と協働したからこそ生み出した場や機会が今年度も多々ありました。本当にありがとうございました。



サポーター（寄付者）

2025年度は **221人** の方に支えていただきました。

※集計期間：2025年4月1日 - 2026年3月31日

いつも温かく支えてくださり、ありがとうございます。
皆さまの応援があるからこそ、多くの10代へ学びと
挑戦の機会を届けることができます。
これからも若者の未来を共に応援いただけますと幸いです。

10周年おめでとうございます！
難しいけど非常に価値のある
活動だと思っています。
志は同じ！応援してます！

10代の学びが、
より面白く、より魅力的で、
より充実したものになっ
ていくことを願って！
ともに頑張ろう！



プログラム協力者/協力団体

延べ

760

約 人

延べ

30

約 団体

“ 学校での授業のゲスト・コーディネーターや、個別の高校生への相談に乗って頂くなど、様々な形で多くの皆様のご協力にて今年も活動ができました。 ”



学校教育

■ ワンダリングチャレンジ for School



ワンダリング チャレンジ
WANDERING CHALLENGE by City Wanderer

3人1組のチームを組み、ゲーム感覚で様々なミッションに挑戦することを通して、誰もが自分にとっての興味・関心や得意・不得意を発見する最初の一步を踏み出せる探究プログラム。

プログラムコーディネーターの育成と展開に重点を置いて活動を行い、養成講座を開発しました。プロトタイプとして8名の受講者に参画いただきました。学校を対象としては、研修を受けたコーディネーターや教員にて、計3校にて実施しました。

〈助成〉一般財団法人三菱みらい育成財団



普段考えないで生活していたことがわかって、普段の生活や当たり前だと思っていることに興味関心を持つようと思えるように成長したと思う。

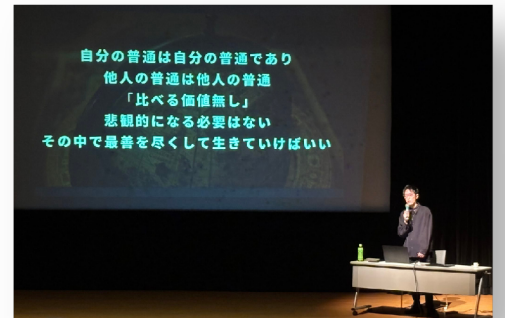
■ MAKERS 出張授業

「まだない選択肢を自ら創る生き方」との出会いを届ける事業としてNPO法人ETIC.の運営するMAKERS UNIVERSITYの卒業生である若手起業家を派遣する出張授業型プログラム。想いを同じくする先生方と協働し実施しています。(寄付を複数人の起業家より頂き、学校・中高生に対しては無償提供)

4年で延べ6,000名以上の中高生に出会いを届けました。

その場の紹介で他の企画に参加したり、起業家のもとでお手伝いをする人が現れるなど、事例も生まれてきています。

〈共催〉NPO法人ETIC.



今まで「まだ中学生だし」と妥協していた、メンタルや考え方などの部分を、「自分のやりたいことをやっていいんだ」と前向きな方向に向けることができた。

■ 都立 NPO×総合学科連携事業

東京都の総合学科高校改革施策の一環として、2023年度よりNPO職員が週2回程度学校に入り、学校と社会をつなぎながら、生徒一人ひとりの学びを支える取り組みを運営しています。キャリア教育や課題研究など「自分で進める学び」の伴走支援に加え、放課後イベントや相談対応を行う校内ユースセンターの運営、地域連携の推進も実施。2024年度には選択授業「社会参画A」が始まり、多様な地域人材が参画。2025年度には卒業生もボランティアとして関わるなど、学びを地域全体で支える文化が育まれています。



ウィルドアがいなければ、自分の将来なりたいものについて、今ほど深く考えることはなかったかもしれません。友達や先生以外に話せる場所があったから、部活も頑張れたし、抱え込みすぎずに済んだと思います。



中間領域 (willdoor事業)

willdoor Compass (高校生のための総合型オンラインサードプレイス)

2025年12月でオープンから3周年を迎えました。オープン当時高校生だった参加者が大学生になる中、所属が変わっても継続して活用してくれる人もいるなど、変化する自分に対しても応援があり、愛着も持てる場として、つながり続けてくれる人たちが居てくれています。スタッフの入れ替わりや状況変容に柔軟に対応しつつ、安定的に開催を行えるように運用の効率化・定型化に努めました。



「研究をしたいといいつつも、何をどうしたら良いかわからなかった状況だったが、アカデミックの面白さを改めて感じる事ができた。新しい課題へのアプローチの仕方も発見できて楽しかった。」

willdoor Compassファシリテーターから見える、高校生の変化

Compassの価値は、イベントのアイデア出しから受験の計画、「なんとなく」立ち寄った子まで、**高校生の多種多様なリアルを受け止める安心感**にあると思っています。最初はモヤモヤを抱えていた高校生が、スタッフや同年代とのフラットな対話を通じ、数時間の中でも「次のステップ」を見出していく。そして1週間後や1年後....次に参加したときにはその振り返りが自然と行われる。そんな高校生の揺らぎある日々を支えています。



梶田 悠馬さん

(willdoor compassファシリテーター)

AI Compassさん (AIを活用した探究・課外活動支援ツール)

AI活用を試行して開発した「AIコンパスさん」は、長野県のイベントや東京都の学校用にカスタマイズをかけながら、2025年度も探究や課外活動に取り組む中高生の自己主導的な学びを支援しました。LINEをベースに活用できる発展版の公開に向けて、2026年5月現在、準備を進めております。



「わたし」を主語にして自分がどう思ったのか何をやりたいのかを考えることが一番のヒントになったと思いました。



社会教育

■ マイプロジェクト長野県事務局（長野県探究プラットフォーム）

長野県内の高校における探究学習の促進と、高校と外部人材の協働の仕組みづくりを目的とした本事業は、今年度で7年目を迎えました。今年度は運営体制を刷新し、探究学習の発表会である「マイプロジェクトアワード長野県Summit」では、高校生・教員・保護者とともに、探究学習について語り合う場づくりに挑戦しました。

〈委託元：長野県教育委員会 学びの改革支援課〉



色々な方の探究を知っていく中で刺激になったことがいっぱいありました。学んだことは人と対話することな大切さです。人と対話することで意見が正反対の人の思いなどを聞くことができ、自分の視野が広がった気がしました。

■ マイプロジェクトアワードオンラインSummit

一人でも多くの高校生が、学校外のセンパイや専門家との対話を通じて「わたしから始まる学び」に踏み出せる機会を届けることを目指し、本事業を受託しています。

2025年度も100名を超える協力者と共に、全国2,000名以上の高校生へ機会を提供しました。また、参加後もLINEオープンチャットを通じて挑戦の共有や機会情報の発信を行い、継続的な学びを支援しています。

〈委託元：NPO法人カタリバ〉



可能性は無限大で、自分次第でどんなことにも挑戦できると感じました。環境問題に取り組む方のお話を聞き、社会を変えるのは簡単ではないけれど、まず一步踏み出してみることが大切なのだと気づくことができました。その姿勢を自分も大切にしていきたいです。

■ TOKYO STARTUP GATEWAY COMMUNITY U18-Lab

起業や挑戦に関心を持つU18世代が、高校時代から自分なりの一歩を踏み出せる環境づくりを目指し、2024年度よりNPO法人ETIC.と連携して実施しています。

今年度はオンライン・オフライン併用の3か月プログラムを2クール開催。東京都主催「プロジェクト・フェア」と接続し、アイデアを実際に形にすることを後押しするため、1on1支援やコミュニティ設計に注力しました。

〈委託元：東京都/NPO法人ETIC. 連携：一般社団法人unmute〉



U18LABの良かったところは、発表だけでなく、その過程も含めて考え続けられる環境があったことです。メンターや参加者との対話を通して新たな視点を得られ、同じように挑戦する仲間の存在が自分の大きな刺激になりました。



社会教育

■ 越境部活動PJ

越境部活動は、学校・地域・学年を越えた高校生が、専門家顧問とともに少人数で“部活”を立ち上げる伴走型プログラムです。2025年度は地域・教育魅力化プラットフォームと共催し、地方の小規模校にも広く展開。

85名の高校生が18テーマの部活動に参加しました。また、高校生発案による「スピーチ部」も新設し、3か月間の活動を実施しました。

〈協働先：NPO法人Leapfor ほか／助成：三菱みらい育成財団〉



仲間と良い関係を築きながら、自分のやりたいことや将来を見つめ直せた、とても有意義な3か月間でした。

■ ワンダリングチャレンジ@地域

今年度は、地域NPO・企業・教員などによる主体的なプログラム実施を広げるため、研修や運営モデルの整備に注力しました。

松本・長岡・奈良の3地域で開催支援を行ったほか、優秀チームを東京に招き、開発元City Wandererとの交流ツアーも実施。さらに教員・個人向け研修を開発し、8名のプログラムコーディネーターを育成しました。

〈協働先：NPO法人ETIC.,一般社団法人KOKO ほか〉



主に世界見聞録や特産品ハンターで出会った方々（奈良漬の社長さんなど）を通して、より参加者と仲良くなって、社会性が高まったと思う。



教育関係者向け

■ 企業・団体へのサポート・アドバイザー

「もっと良い形で10代の学びに関わりたい」と挑戦する法人に向け、研修やアドバイザーを通じた伴走支援を実施しました。

今年度は有償案件の増加に伴い、支援内容の体系化・サービス化を推進。高校時代の参加者が社会に出て案件をつないでくれる事例も生まれ、これまでの取り組みが社会へ循環し始めています。

新規事業開発や研修支援を通じ、10代の学びを支える仲間を広げています。



自社だけでは見落としていた課題の言語化やプログラムのブラッシュアップが実現しました。10代の学びを共創するパートナーとして心強いサポートに感謝しています。



教育関係者向け

■ 学びのナビゲーター研修

蓄積してきた「自走・自燃・自律」を促す知見を、定型で学べるサービス化を目指して取り組みを行いました。本研修の知見を応用し、立命館アジア太平洋大学Connection Hubと実施したほか、昨年度研究会に参画してくれた山本竜也さんにご協力いただく形で、地方の学校への研修提供も行いました。

〈提供先〉

認定NPO法人カタリバ、HLAB、一般社団法人52Hz、佐久長聖高等学校、函館西高等学校、宍道高等学校コンソーシアム他

探究を考える、新しいレンズ「ナビゲート」研修に伺います

今年度限り開催費用無料

探究する子どもたちの自燃・自走へ向けた考え方・方法である、「ナビゲート」。その研修を学校・地域で行いたい方々を募集します。探究の進め方を一緒に考える機会にしませんか？

講師
山本竜也
教育研究コーディネーター
立命館大学アソシエイト（教員
職） 島根県立津和野高等学校 特
任コーディネーター 中野誠司
立命館大学アソシエイト
コーディネーター 立命館大学ア
ソシエイト 立命館大学アソシ
エイト 立命館大学アソシエ
イト 立命館大学アソシエ
イト 立命館大学アソシエ
イト

協力
一般社団法人ウィルドア willdoor
一般財団法人 三愛みらい育成財団
三愛みらい育成財団

お問い合わせ
メール：peaceyamamoto@gmail.com
もしくは、Facebook



新しい知見を得て、これからの自身の活動に光が差し込んだ思いを抱きます。「観」につづく「見立て」に分析と振り返る根拠をいただき、活動への関わり方を改善していけるという可能性を得られた喜びを自分自身に発見しています。

■ 伴走者フォーラム（長野県探究プラットフォーム）

「先進事例の実践共有と外部人材活用の好事例紹介」という従来のコンセプトを踏襲しながら、意図的に職員会議が全県的に実施されないタイミングに合わせて実施しました。

当日は県内22校から140名の教員がオンラインで参加し、アーカイブ配信を含めると200名以上にお申込みいただきました。

長野県全域で探究の熱量を波及させ、生徒の主体的な学びを支える土壌を育みました。

〈委託元〉長野県 教育委員会学びの改革支援課

プロジェクト

令和7年度

伴走者フォーラム

(探究プラットフォーム事業)



地域の課題から問いを設定するのではなく、生徒の興味関心の方から地域の課題に迫っていくということ。目からウロコでした。

■ 信州学び円卓会議 民間共同事務局

「長野県の子どもたちにとって最適な学び」を議論・実践する場づくりを事務局として下支えしています。今年度は“実行フェーズ”として、教員の働き方改革や多様な学びをテーマにした「ともつくミーティング」を開催しました。

約130名が参加したフォーラムでは、20団体による実践共有や子どもと共に進めるワークショップを実施し、「学びの新しい当たり前」を共創する機運づくりに貢献しました。

〈委託元〉長野県 県民文化部県民の学び支援課



様々な立場の方の支援の仕方、考えが聞けたことで自分の経験や考えの足りなさに気づいた。学びの多い場であった。

活動計算書サマリ

金額（単位：円）

	科目	2024年度 (2024年4月～2025年3月)	2025年度 (2025年4月～2026年3月)	増減額	増減率
経常収益	受取会費	90,000	30,000	▲60,000	-66.7%
	① 受取寄付金	101,043	2,423,303	+2,322,260	+2,298.0%
	② 受取助成均等	18,310,000	9,800,000	▲8,510,000	-46.4%
	③ 事業収益	38,670,816	44,681,973	+6,011,157	+15.5%
	その他収益	157,717	659,647	+501,930	+318.3%
	経常収益計	57,329,576	57,594,923	+265,347	+0.5%
経常経費	1.事業費				
	④ 人件費	23,316,446	25,327,194	+2,010,748	+8.6%
	⑤ 業務委託費・謝金	16,029,831	23,009,251	+6,979,420	+43.5%
	旅費交通費	3,494,176	1,672,753	▲1,821,423	-52.1%
	広報・印刷・消耗品等	895,038	864,363	▲30,675	-3.4%
	その他事業費	4,394,646	910,393	▲3,484,253	-79.3%
	事業費合計	48,130,137	51,783,954	+3,653,817	+7.6%
	2.管理費				
	人件費	749,481	1,055,299	+305,818	+40.8%
	⑥ その他管理費	5,596,036	7,675,606	+2,079,570	+37.2%
	管理費合計	6,345,517	8,730,905	+2,385,388	+37.6%
	経常費用計	54,475,654	60,514,859	+6,039,205	+11.1%
	当期経常増減額	2,853,922	▲2,919,936	▲5,773,858	-

① 受取寄付金の大幅増



10周年を期に、マンスリーサポーター制度を開始し寄付を原資とした事業運営に挑戦を開始しました。多くの皆様の協力のお陰で良い走り出しをすることが出来ました。

② 受取助成金等の減少



昨年度で、「willdoor Compass」事業は三菱みらい育成財団の助成期間を終えました。その他の助成にも挑戦はしたものの獲得が出来ず、半減となりました。

③ 事業収益の増加



助成金依存の財務状況を打破するため、事業収益を伸ばすことに注力しました。企業へのコンサルやプログラム運営サポートの事業にて一定の規模を出すことが出来ました。

④ 人件費の増加



今年度1名のフルタイムのスタッフの雇用を新たにすることが出来ました。

⑤ 業務委託費・謝金の増加



各事業の最適なチーム体制を構築するために、助成金も活用しながら業務委託にて体制強化を行いました。また、業務効率化のためにシステムエンジニアもチームに巻き込み、様々な社内ツールの開発も行いました。

⑥ 管理費の増加



安定した組織運営を目指し、バックオフィスを強化しました。NPO経営に強い社労士、税理士を始めとした専門家への委託を行い、しっかりとした体制を構築することができました。



団体の詳細情報はこちら

助成金によるご支援をいただいた団体・財団

法人情報



法人名：	一般社団法人ウィルドア
設立日：	2015年5月14日
共同代表理事：	竹田和広、武口翔吾
所在地：	神奈川県川崎市中原区新丸子東 静観ビル 301
お問い合わせ：	info@willdoor.org

Vision

一人ひとりが “自分” と “社会” と共に生きられる 未来

Mission

“与える大人” 視点（学校や社会等）ではなく “主役たる若者” の視点で
「自ら選び、学び、変わる自由」に寄り添える環境を創る

Credo

人を変えることはできない
でも人の可能性を信じ、変わりたい気持ちを後押しすることはできる

1. 高校生とともに、良き学びの実践者であろう
2. 我々が優先すべきは、高校生が 生み出す結果ではなく 学びである
3. 抱え込まず、人に頼ろう
4. 失敗もありうるチャレンジをしよう
5. その場限りで終わる言葉を送るのではなく、次の一步に繋がる機会をつくろう
6. 自分の考え方・感じ方を大切にしつつ、違う考え方・感じ方をリスペクトしよう

“わたしから始まる学び” を、“皆様と共に” これからも。